

わが修二校



平成28年度 第7号

平成28年12月1日
京都市立修学院第二小学校
校長 川口 正二

12月のことば

今月は「自分を大切にできる人が 人を大切にできる人だ」としました。

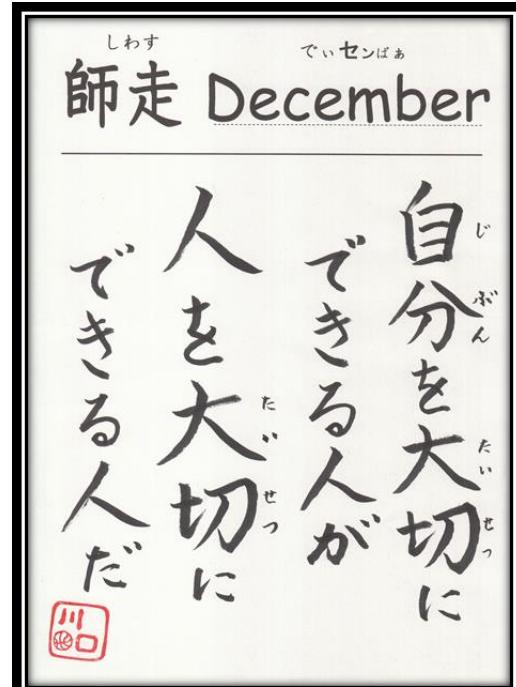
国連において1948（昭和23）年12月10日に世界人権宣言が採択され、1950（昭和25）年には12月10日が「人権デー」と定められました。我が国でも昭和24年に12月4日から10日までの1週間を「人権週間」とすることが定められました。京都市では12月を「人権月間」とし、様々な人権尊重の取組が行われています。今年も12月3日（土）には京都市PTA連絡協議会主催による人権尊重街頭啓発活動が全市一斉に行われ、本校PTAも参加します。

さて、本校においても12月には人権集会を行い、人権を守ることの大切さについて考えます。「人権」… 人として持っている権利です。

これを守ろう、尊重しようということなのですが、よく言われるのは「人を大切にしよう」という言葉です。この場合の「人」には、多くの場合「自分」が含まれていないように思います。もちろん、自分の周りにいる人たちを大切にするというのも大事なことで、それを否定しようというのではありません。一人の人間が幸せに生きようとするのを、周囲の者は阻害してはいけません。5月のことばで示したように「互いの違いを認め」、それぞれの人間が幸福に生きる権利を奪わないようにしていかなければいけません。それは当然のことなのですが、少し考えてみて欲しいのです。

人を大切にすることは確かに大事なのだが、では、**自分のことは大事にできていますか**、ということです。自分をないがしろにして、しっかり自分の生き方を考えることのできない者が、自分以外の人を大事にすることができるでしょうか。できないと思います。自分をしっかりと見つめ、自分がどう生きて行くか、どのような幸せな人生を生きるかということを考えようとする人でなければ、他の人がどのように自分を大事に生きようとしているかなど考えられるはずがない。つまり、自分以外の他の人を理解して、本当に大切にすることなどできない、ということです。

また一方で、人間は人に大切にされないと自分に自信や誇りを持てない、というのも事実です。人間は失敗もたくさんします。時には自分を見失って、周りに八つ当たりしたりもします。そういう時に、みんなでお互いを支えあうことが大事だと思います。人を大切にする、自分を大切にする、ということはどういうことか、ぜひ考えてみてほしいと思います。



素晴らしい「なかよし運動会」

11月8日（火），本校で左京南支部12校による「なかよし運動会」が開かれました。「なかよし運動会」とは，各校の育成学級の児童みんなが年に一度集まって行う運動会のこと，今年は本校を会場に行われました。会場校の児童は1年生から6年生まで全員が，学年ごとに競技や開閉会式など役割を決めて育成学級のお友達と交流したりお手伝いをしたりします。本校児童も準備の段階から何度も練習を重ね，当日は本校に集まったお友達と一緒に競技したり運営の協力をしたりしました。どの学校の先生方からも「修二の子たちは本当に気持ち良く笑顔でやってくれました」「優しい子たちですね」とお褒めの言葉をいただきました。素晴らしい一日になったと思います。



＜なかよし運動会の様子＞

大文字駅伝支部予選・よく頑張りました。

翌9日（水）には賀茂川河川敷で大文字駅伝の支部予選が行われました。本校からも6年生の代表8名が出場し，たすきをつなぎ完走しました。結果は残念ながら12校中8位で全市大会への出場はかないませんでしたが，みんな一生懸命最後までしっかり走ってくれました。立派な態度だったと思います。選手以外の6年生も全員応援に参加してくれました。保護者の皆様には大会運営にご協力いただき，応援にも多数お越しいただきました。ありがとうございました。

「修ニっ子」大活躍！

上記のこと以外にも前号発行から今回までの間に，修二の子ども達の活躍が続いています。ここに紹介しきれないものもあるかと思いますがご了承ください。

一乗寺ホーマーズ … 宝ヶ池交流大会・5年生の部46校で準優勝

各種コンテスト … 図工の「アイデア展」で京都市教育長賞，社会を明るくする運動のポスター・コンクールで入賞の他，読書感想文，理科，図工などでも表彰されています。

ドリームバンド … 11月5日（土）宝ヶ池公園で行われた「左京子どもふれあいカーニバル」への出演，一乗寺保育園の行事での演奏，修二少年補導「愛のパレード」など，地域に愛されるバンドとして，特に秋は地域の催しに招かれて大活躍です。12月4日（日）には亀岡市で行われる第26回京都小学校マーチングフェスティバルに出演します。



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

